

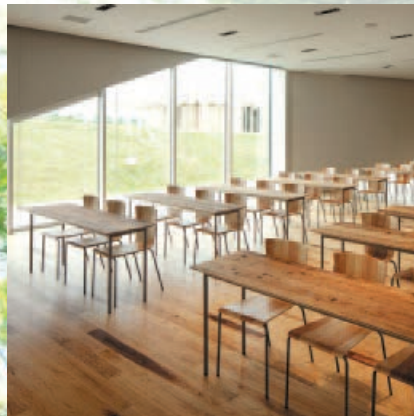
木づかい

10月は「木づかい推進月間」です。

生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健休養の場の提供など森林の持つ多面的機能は、木を植え、育て、伐採し、木材を有効活用する持続的な森林生産活動によって発揮されます。

国産材の利用拡大は林業や木材産業を活性化するとともに、こうした森林の多面的な機能が将来にわたって十分に発揮されるために欠かせません。

今号の特集では、国産材を使用したさまざまな製品や、木づかいの推進を通して日本の森林を育てる取組等についてご紹介します。



■国産材を使用したさまざまな製品

わが国には、古くから暮らしの中にさまざまな形で木を取り入れる「木の文化」があり、現在も国産材の持つ特性を活用したさまざまな製品が生み出されています。

針葉樹の弱点をカバーする圧密加工の家具

株式会社 天童木工

株式会社天童木工は、昭和15年、山形県天童市に誕生した家具メーカーです。

昭和22年、薄く切り出した木の板を重ね合わせて型に入れ、圧力と熱を加えて、さまざまな形状を作り出す「成形合板」の技術を日本でいち早く家具に取り入れました。

軽く丈夫で、無垢材では表現が困難な複雑な曲線を可能にする成形合板は、その美しい木目を活かして国産高級車のステアリングやアシストグリップ等の内装インテリアとしても利用されています。

こうした成形合板の技術を応用して、接着する単板の枚数を変えながら、一枚の合板のなかで厚みに変化をつける「不等



Photo by KAI NAKAMURA PHOTOGRAPHY

圧密加工した国産スギ材の使用例(九州芸文館)



バタフライズツール

厚成形」や、無垢材を成形合板で挟み込んで加圧成形する「コマ入れ成形」等、繊細なデザイン表現のできる独自の技術を持った企業として多くのデザイナーや建築家に支持され、海外でも高く評価される「バタフライズツール」やロングセラーの「低座イス」などを世に送り出しています。

また、日本の森林の健全化はもちろん、国産針葉樹の積極的な利用拡大にむけた新たな取組を始めています。

これまで、日本の人工林の多くを占めるスギやヒノキといった針葉樹の材は、家具に主に使われる広葉樹材に比べて、柔らかく、しなりやすいため、傷

つきやすい家具の表面材や、荷重のかかる家具の脚等には不向きとされていました。こうした問題を解決するため、同社は「圧密加工」に注目。これまで培ってきた成形技術と合わせることで、スギ・ヒノキ材を使用した圧密成形の技術を確認しました。今年4月には、ナチュラルで親しみやすい針葉樹材の木目を活かしながら、丈夫で軽いといった、デザイン性と機能性を合わせ持った家具を発表しました。

針葉樹材の圧密加工は、これまで柱材や床材などに用途が限られていたスギやヒノキ等に新たな用途を生み出し、国内の森林の多くを占める針葉樹の有効活用を可能にした技術として注目を集めています。

全国の地域材を、家具として地元に戻りさせる「地産・地消の家具作り」をサポートするなど、日本の森林・林業の再生に挑戦しています。



成形合板技術が活かされたブルーノ・マットソン シリーズ



国産スギ材を圧密加工したベンチ



「スーヴ コレクション」



ロングセラーの「低座イス」

ホームページ <http://www.tendo-mokko.co.jp/>

■お問い合わせ
〒994-8601 山形県天童市乱川1-3-10
☎023-653-3121

匠の技と、現代の技術・デザインが融合した家具

飛騨産業株式会社

飛騨産業株式会社は大正9年創業の老舗家具メーカーです。面積の約93%を森林が占める飛騨地方の豊かな森林資源を背景に培われてきた優れた木工技術を持った「飛騨の匠」とドイツ発祥の曲木の技術が出会ったことを機に、西洋家具のメーカーとして発足しました。

椅子など見たこともなかった当時の職人たちは、永年の経験と木の知識に支えられながら試行錯誤をくりかえし、工夫を加えて、2年後には飛騨地方に伝わる漆器の技法・春慶塗を施した椅子を、世に送りだすようになりました。

これ以後、同社の家具は昭和初頭のもダニズムを彩り、日本の家具文化を育むようになりました。また、アメリカへの輸出を生産の中心にすることで、

欧米文化に培われた感覚を取り入れ、戦後は優れたデザインと品質で評判を集め、数々のロングセラーを生みだして、日本人の暮らしに定着してきました。

同社の得意とする曲木は、高温の蒸気で柔らかくした木材をプレスして曲線状に加工する技法です。同社では、この曲木技術をもとに地元の森林組合等とともに設立した「飛騨杉研究開発協同組合」で開発した精度の高い三次元圧縮加工技術によって、家具に適した硬さのスギ材を作ることに成功しました。

また、従来は家具に使えないとされていた節のある木材を使用した「森のこぼ」シリーズや、端材を組み合わせる「baguette life」シリーズ等、木材を無駄なく使う家具づくりにも取り組んでいます。



国産のスギ材を使用した書架(港区立麻布図書館)



地元のスギ材を使用したフローリングと家具(三重県亀山市立関中学校)



HIDAシリーズを使った内装((東京都中央区)

海外へ国産家具の魅力を発信

平成15年には、イタリアの工業デザイナー、エンツォ・マリー氏とともに国産スギ材を使用した「HIDA」プロジェクトを始動。平成17年には、イタリアで開催された世界最大級の家具見本市・ミラノ国際家具見本市に同シリーズの家具を出展し、高い評価を得ています。

今年4月には、「HIDA」シリーズのほか、国産スギ材の美しさを活かした川上元美氏のデザインによる「KISARAGI」シリーズ等をミラノ国際家具見本市に出展しているほか、6月には中国・北京市内に販売拠点を設けるなど、海外への販路拡大も積極的に行い、国産材を使った家具の魅力を広く発信しています。



国産スギ材を使用した家具「HIDA」シリーズ



スギ柾目圧縮材を使った「KISARAGI」シリーズ



第53回サローネ国際家具見本市(イタリア・ミラノ、2014年4月)
(写真提供：(一社)日本家具産業振興会)

ホームページ <http://www.kitutuki.co.jp/>
facebook <https://www.facebook.com/HIDASANGYO>

■お問い合わせ
〒506-8686 岐阜県高山市漆垣内町3180
☎0577-32-1001

被災地のスギ材を活用した震災復興

株式会社ワイズ・ワイズ



被災地のスギ材を活用した「KURIKOMA」

株式会社ワイズ・ワイズは、オリジナル家具やテーブルウェアをはじめとした生活雑貨を販売しているライフスタイルブランド。国産材や伐採地の森林環境や地域社会に配慮したフェアウッド等、環境配慮型の木材調達を中心に「グリーンプロジェクト」を展開しています。

宮城県栗駒山のスギ材を使用した椅子「KURIKOMA」は、東日本大震災周辺域のスギ材を活用したエコファニチャー事業として平成24年度グッドデザイン・ものづくりデザイン賞を受賞しています。

ホームページ <http://www.wisewise.com/>
facebook <https://www.facebook.com/WISEWISE.omotesando>

家具に使われることの少なかったスギの間伐材や小径木を活用するため、建築分野で開発された技術・CLT(クロス・ラミネーテッド・ティンバー)を家具メーカーとして初めて導入。CLTパネルを3層構造で組み上げることで、柔らかいスギ材で体重のかかる椅子に求められる強度を実現しています。



精密な加工でつくられた「KURIKOMA」のパーツ。背柱、座面、脚を一体化して強度を持たせています。



「KURIKOMA」の座面と脚の組立作業

■お問い合わせ
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-12-7
☎03-5467-7001

地域材を使用した木のおもちゃ

株式会社木遊舎

株式会社木遊舎は、木製玩具を製造しているおもちゃ工房。主に愛媛県産ヒノキ材を活用した集成材を材料とした子ども用玩具や遊具等、地域材を利用した木のおもちゃの製作に取り組んでいます。なかでも「天使のほっぺ(ほっぺ)シリーズ」は、愛媛県産のブランド桧「媛ひのき」を使用し、森林の循環を目指した製品として注目を集めています。

国産の集成材は製造コストが高く、従来はほとんどおもちゃに使われていませんでしたが、専用サイズを県内で製造することで、製造と輸送のコスト低減を図っています。

また、同社の全ての製品には愛媛県産オフセット・クレジットが付加されており、消費者は同社の

ホームページ <http://www.mokuyusya.com/>

製品をひとつ購入するごとにCO₂を1kg相殺するとともに、森林資源の循環を支援できる仕組みになっています。



国産ヒノキ材を使用したひのきほんたて



国産ヒノキ材を使用したキリンの輪投げ



国産ヒノキ材を使用したひのきキッチンテーブル

■お問い合わせ
〒791-3201 愛媛県伊予市中山町佐礼谷1-213-1
☎089-968-0363

新しい用途での国産材資源化を実現した極薄天然木シート

株式会社ビッグウィル

株式会社ビッグウィルは、独自の製造技術によって、紙のように曲げたり、切ることができる天然木極薄木材シートを製造・販売しているメーカー。独自の製造技術で様々な天然木材のロール資材化を実現し、今まで原木や板、角材等でしか供給できなかった木材の使用用途を広げました。

様々な印刷に対応した「樹の紙」や、他社では製造不可能な極薄紙の木の折り紙「折り樹」、クロス同様の施工が可能な天然木の壁紙「天然木極薄ツキ板不燃シート」等の製品には海外から多くの問い合わせが寄せられています。同社は今年9月にシンガポールで開催された建設環境展「BEX Asia」にも出展するなど、今後、海外展開をさらに本格化していく予定です。

ホームページ <http://www.bigwill.co.jp>
facebook <http://www.facebook.com/bigwill.co.jp/>



ロール間伐資材と特殊紙を組み合わせて作られた「樹の紙」



天然木不燃シート「恋樹百景(こいきひやつけい)」

「樹の紙」で作った、日本伝統の折紙「折り樹」

■お問い合わせ
〒771-2501 徳島県三好郡東みよし町屋間835
☎0883-79-3300

世界に認知されるブランドへ

株式会社エコアス馬路村



スギ間伐材を使用した木製うちわ

林業の衰退や雇用の減少など、地域経済の衰退への対策が課題となった高知県馬路村では、平成11年に木材産業の振興に向けた「森の仕事まると販売計画」を策定、この計画を実行する母体として平成12年に第3セクターの株式会社エコアス馬路村を設立。造林・育林・間伐等はもちろん、木製のカバンやうちわ等の生産・加工・販売を行うことで、森林資源の有効活用と森林の公益的機能の充実が村民の手で進められています。

平成16年に販売を開始した間伐材の木のバッグ・「monacca」シリーズは、独特のフォルム、デザイン

ホームページ <http://www.ecoasu.co.jp>

ン性、アイデアが内外で高く評価されています。村では海外への販路拡大を狙って、フランスのメゾン・エ・オブジェに代表される国際見本市等に積極的に出展し、ニューヨーク近代美術館(MoMA)ミュージアムストアでも取り扱われるなど、国内外に広く認知されるブランドとなっています。



メゾン・エ・オブジェ出展風景(フランス・パリ、平成21年1月)

木製バッグ monacca



■お問い合わせ

〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路1464-3
☎0887-44-2535

間伐材を活用したノベルティ製作

フロンティアジャパン株式会社

フロンティアジャパン株式会社は、間伐材を有効活用したノベルティグッズの製作・販売を行う会社。間伐材を利用したノベルティグッズを「ジャパン・ブランド」として位置づけ、社会・環境問題の解決と企業の競争力向上を両立したグッズの提案を行っています。また、平成23年からは企業が保全整備を行っている「企業の森」の間伐材を使用したオリジナルグッズ製造にも取り組み、森林と企業をつなぐ役割をさらに広げてきました。

平成24年3月には東日本大震災によって大きな被害を受けた宮城県南三陸町に工場を設立。被災地の雇用を作り出すとともに、被災地のスギ間伐材を利用したグッズの製作を行っています。

ホームページ <http://www.eco-pro.ne.jp>
facebook <https://www.facebook.com/FRONTIERJAPAN>

同社の新製品シリーズ「Kuroko」は、国産スギ・ヒノキ間伐材や端材を有効活用して製造された素材(MDF)を使用した、森林保全や環境保全に寄与する木材素材のシリーズです。



国産スギ・ヒノキ間伐材や端材を有効活用した「Kuroko」



国産材のヒノキとケヤキを組み合わせたミニフォトフレーム



「まる置き時計」
国産スギの間伐材を使用した

■お問い合わせ

〒135-0024 東京都江東区清澄1-3-2
☎03-5646-1023

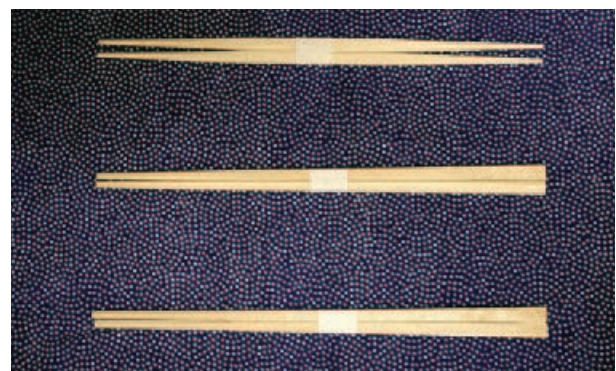
環境にやさしい国産スギ材の箸

株式会社はるか

株式会社はるかは、国産スギ材の端材・間伐材を利用した割り箸を専門に製造・販売している会社。独自に開発したマルチサイダー、マルチデバイダーなどの機械設備により、従来はチップ材などにしか利用されていなかった国産スギ材の間伐材や端材を、香りが良く、美しい木目を持った杉箸として加工しています。

また、製造過程で発生した木屑などは、細かく粉碎して家畜の敷料に利用し、その後肥料として土に返すことで資源を無駄なく循環させ、森林を守り環境破壊を防ぐことにつなげています。

ホームページ <http://www.haruka-eco.com/>



国産スギ材を使用した箸(上から「らんちゅう箸」「あすか箸」「天削箸」)

■お問い合わせ

〒455-0004 名古屋市港区津金2-13-28
☎052-652-0350

木材利用ポイントの発行申請はお早めに！

その木、どこの木？

昨年4月1日から始まった木材利用ポイント事業。木材利用ポイントの発行対象となる木造住宅の新築や内外装木質化等の工事着手期間および木材製品等の購入期間は、平成26年9月30日で終了しました。

お持ちのポイントがある場合は、地域の農林水産品等や農山漁村地域における体験型旅行、商品券等との交換や、木材を使った別の工事費に充当(即時交換)することができるほか、森林づくり・木づかい活動や被災地等に

寄付することができます。

ポイントの発行申請できる期間は平成27年5月31日まで、交換商品等にポイントを交換申請できる期間は平成27年10月31日までです。

ポイント発行額が予算額に達した場合には、発行申請期間が終了する前であってもポイントの発行を終了するため、発行申請の手続きはお早めに！

ポイントの発行対象となる工事の期間及び木材製品／ストーブのポイントの発行対象期間

平成25年4月1日

平成26年9月30日

終了しました

ポイントの発行申請できる期間

平成25年7月1日

平成27年5月31日
(当日消印有効)

交換商品等にポイントを交換申請できる期間

平成25年7月1日

平成27年10月31日
(当日消印有効)

全国各地で「木づかいイベント」が開催！

林野庁では、平成17年度から国産材利用の意義を広め、需要の拡大につなげる国民運動として、「木づかい運動」を展開しています。また、毎年10月を「木づかい推進月間」として、全国各地で様々なイベントが開催され

ます。それぞれのイベントでは木工体験や地元で作られた木製品などが販売されています。お近くの会場に足を運んでみてはいかがでしょうか。

期間	行事名	開催地および会場	主催等	電話番号
10月25日～10月26日	くしろ木づなフェスティバル	鳥取ドーム (北海道釧路市鳥取北7)	くしろ木づなフェスティバル実行委員会	011-204-5515
10月25日～10月26日	第39回福島県林業祭	福島県林業研究センター ほか (福島県安積町成田)	福島県林業祭実行委員会	024-521-7426
10月25日～10月26日	木づかいで応援しよう～2014東北復興大祭典なかの～	中野サンプラザ (東京都中野区中野4-1-1)	2014東北復興大祭典なかの実行委員会	03-5275-5091
10月25日～10月26日	森の木とのふれあいフェア	岐阜県庁芝生広場 (岐阜県岐阜市数田南2-1-1)	岐阜県	058-272-8483
10月25日	森のおもちゃフェスティバル	(株)西栗倉・森の学校 (岡山県英田郡西栗倉村大字影石895)	西栗倉村	0868-79-2111
10月25日～10月26日	第10回高知もくもくランド2014	高知市中央公園 (高知県高知市帯屋町)	高知県 高知県木材普及推進協会	088-883-6721
10月25日～10月26日	第15回かごしま木材まつり(かごしまウッドフェスタ21)	かごしま県民交流センター (鹿児島県鹿児島市山下町14-50)	かごしま木材まつり実行委員会 (事務局：(一社)県木材協会連合会)	099-260-5356
11月3日	第8回ひろしま「森の市」	広島市森林公園 (広島県広島市東区福田町字藤ヶ丸173)	市民参加の森林づくり実行委員会	082-845-4348
11月6日～11月9日	沖縄ウッドフェア	沖縄市プラザハウスショッピングセンター (沖縄県沖縄市久保田3-1-12)	沖縄ウッドフェア実行委員会	098-877-8588
11月21日～11月22日	全国木のまちサミット	住田町役場 (岩手県気仙郡住田町世田米字川向88-1)	全国木のまちサミット実行委員会	0192-46-2111